

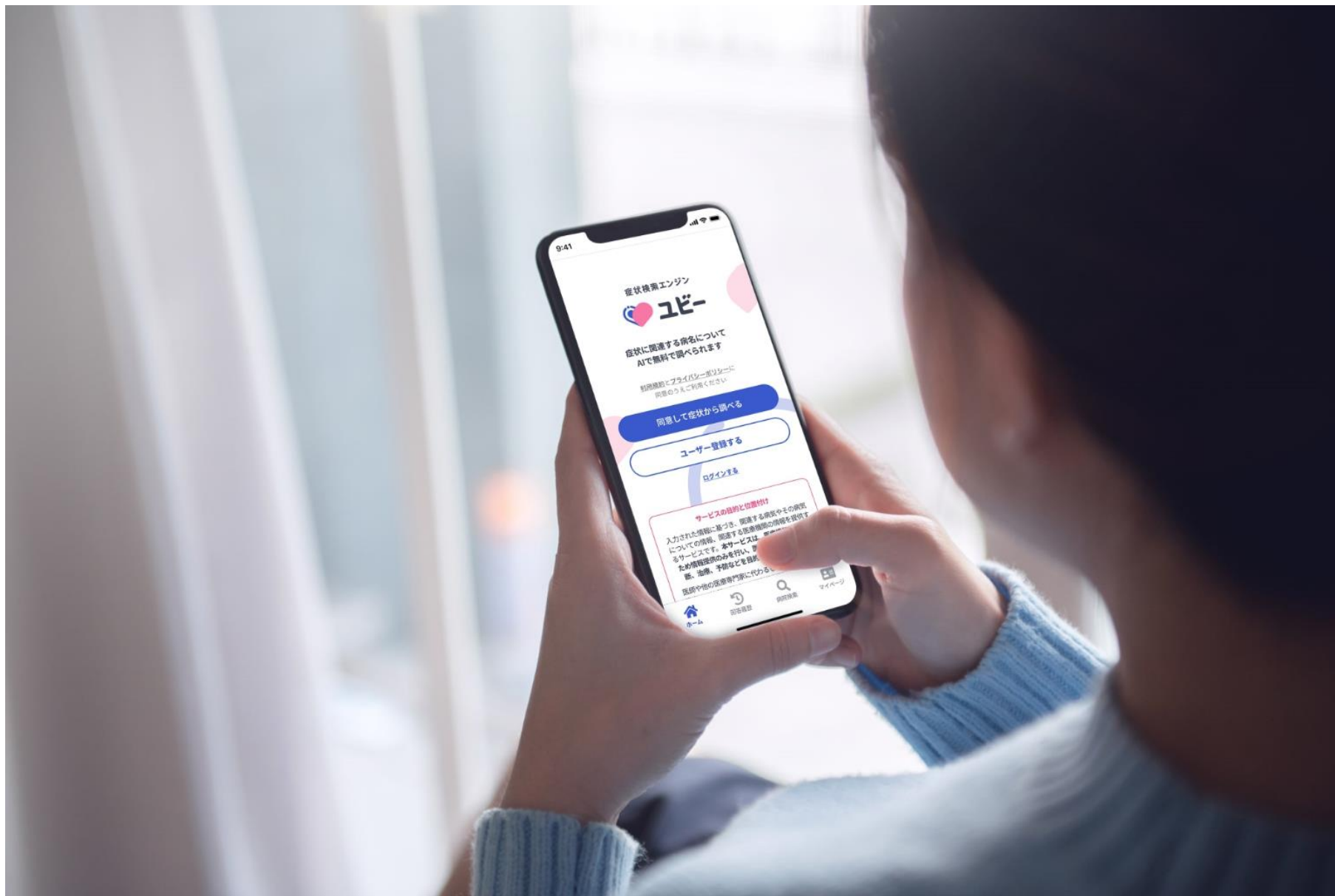
## ②③ Ubie(株) ユビー

---

## ⑳ Ubie(株) ユビー (概要)

企業名	Ubie株式会社
機器・サービス名	症状検索エンジン「ユビー」
問合せ先	<a href="https://ubie.life/inquiry">https://ubie.life/inquiry</a>
機器・サービスの概要	症状に関連する質問に答えることで、その症状に関連する病気の詳細を調べることができます
機器・サービスの 特徴	<p><b>1. 機器・サービスの機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 症状に関連したいくつかの質問に答えることで、関連する病気やその対処法、適切な診療科や、近所の病院・クリニックなどを調べることができます。</li> <li>● 回答結果を医療機関に連携することで、スムーズに診察を受けることができます。(一部の医療機関で対応しています。)</li> </ul> <p><b>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● テキスト色のコントラスト比が 1:4.5 を満たすように設計されており、視力が弱い方や、色覚特性を持つ方でも見やすくなるように配慮されています。</li> <li>● タップ領域をなるべく大きく取ることで、指先が不自由な方でも誤タップしにくくなるよう配慮しています。</li> <li>● スクリーンリーダーを介してサービスを利用しても情報がきちんと伝達され、問題なく利用できるように設計しています。</li> </ul>

# ⑳ Ubie (株) ユビー (概要)



## ②③ Ubie (株) ユビー (概要)

### 当事者ニーズを踏まえた開発

別プロダクトの開発時に培った「高齢者ニーズを踏まえたデザイン」をベースに開発を行い、運営していました(参考1)。2021年より、Webアクセシビリティの書籍を出版している専門家とともに、WCAG 2.1に基づく課題抽出を行い、改善を行いました(参考2)。改善反映後、全盲の視覚障害者4名にテストを実施してもらい、問題なく利用できることを確認しました(参考3)。以降、定期的な高齢者・障害当事者ユーザーへのインタビューにより、利用可能であることの確認と、改善点抽出・反映を行っています。同時に、アクセシブルなデザインシステム構築と自動チェックを組み合わせ、製品の品質を継続的に向上しています(参考4)。

- 参考1: <https://note.com/shikichee/n/n1c78ed4b4af7>
- 参考2: [https://zenn.dev/ubie\\_dev/articles/379166d12d5a91](https://zenn.dev/ubie_dev/articles/379166d12d5a91)
- 参考3: [https://note.com/ubie\\_discovery/n/n21ba666f9c50](https://note.com/ubie_discovery/n/n21ba666f9c50)
- 参考4: [https://zenn.dev/ubie\\_dev/articles/a79ffa23b775b5](https://zenn.dev/ubie_dev/articles/a79ffa23b775b5)

### 企業としての取組

- アクセシビリティ推進を行うチームを組成しています。
- 継続的にアクセシブルな状態を保つために、デザインシステムの構築をし、全社として共通のコンポーネントを運用することを計画、実行中となっています。
- 定期的なユーザビリティテストを実施し、アクセシビリティ上の問題が生じていないかチェックするとともにユーザーの意見をプロダクトデザインに反映しています。

## ②③ Ubie (株) ユビー (審査結果)

### 1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

#### a. 製品が提供する価値

- ・ 傷病については、個人情報として、他者に口外したくない事情等があること等を勘案すると、自宅等から簡単にアクセスできる医療系のアプリケーションは必要なツールである。
- ・ 症状検索エンジンが高齢者・障害当事者にとって使いやすいように工夫されている。
- ・ 質問に答えるだけで関連する病気や対処法、適切な診療科や近所の病院を調べることが出来る。

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 基本的にタッチ操作であるが、TalkBackやVoiceOverでも検証し改善に努めている。

### 2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

#### a. 製品が提供するアプリケーション価値

- ・ —

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 可能であれば、画面の見え目への検証として、弱視(ロービジョン)を考慮することを期待する。
- ・ コンテンツ側ではアクセシビリティ対応せず、スマートフォン等のOS側にそれを委ねているが、十分でない恐れがあり、コンテンツ側(アプリケーション自体)で対応する方向に向かうことを期待する。

## ②③ Ubie (株) ユビー (審査結果)

### 3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 製品開発時に、ウェブアクセシビリティの専門家とWCAG 2.1(ウェブコンテンツアクセシビリティガイドライン)に対応しているか否かを検討し、全盲者4名によるモニター検証を実施している。さらに、開発後も高齢者・障害当事者の意見を聞いて製品改良を行っている。

### 4. 企業としての取組について、優れている点

- アクセシビリティ推進チームを組成し、定期的なユーザビリティテストの実施やユーザーへの意見等を製品に反映する仕組みを取り入れている。また、このような取組を実施する姿勢が評価できる。